

樹木漫画

新・リン子の絵日記 2



作 平田 美紗子



発行 林野庁 林野図書資料館

はじめに

樹木漫画「リン子の絵日記」第三弾

今回は雄大な大地が広がる北海道を舞台にお届けします

北海道でしか見られない木

北海道ならではの木と人の歴史

木を生活に取り入れてきたアイヌ文化

北海道の様々な木のお話しを通して

木の新たな一面を知ったら

きっともっと 木が面白くなって

もっともっと 木のことを知りたくなるはず





新・リン子の絵日記2

目次

トドマツ	4
エゾマツ	5
アオダモ	6
オヒョウ	7
アカエゾマツ	8
エゾヤマザクラ	9
ナナカマド	10
カラマツ	11
ミズナラ	12
ハルニレ	13
シナノキ	14
ハンノキ	15
カツラ	16
イチイ	17

作品は随時増えます♪

トドマツ

マツ科
モミ属
樹高 30m

リン子の絵日記

トドマツ



わくわく本物の木のツリーー！
もーみーのきー
もーみーのきー

北海道のモミといえはトドマツ。

葉先がやわらかく枝が上を向くトドマツはツリーに最適だね。

なんかすっきりみかんみたいな香りがする！

トドマツからはアロマオイルが取り出せるの

冬の乾燥した空気をきれいにしてくれるのよ。



寒さに強く、少ない光でも成長できるトドマツは北海道の森からのおくりもの。



樹皮も白っぽい灰色できれい

材も白くてきれいなんだ。

軽く柔らかくて加工しやすいから建築材などとして重宝されていたよ。

春

雌花は前年の枝につく



秋

完全に熟した松ぼっくりは種子を飛ばしてバラバラになり芯だけを残す

種子



冬

冬芽は松ヤニに覆われる



雌花

雄花

夏

受粉した雌花は成熟して暗紫色になる葉の先は二つに分かれ裏には2本の白線が目立つ

エゾマツ

マツ科
トウヒ属
樹高 30~40m

リン子・絵日記

見^みてみて木^きが一^{いっ}列^{れつ}に並^{なら}んでい^いるよ!

今日^{けふ}は
登山^{とんざん}に
来^きていま^ます。

あれは
エゾマツの
倒^{たふ}木^き更新^{かふしん}だ
ね

エゾマツの種^{たね}や幼^{おと}木^ぎは
菌^{かび}にと^とも弱^{よわ}いから

木^きの上^{うへ}に
とどけ~

運^{はこ}ぶよ
倒^{たふ}れた
木^きの上^{うへ}に
落^おちた種^{たね}だけ
が生^なき残^{のこ}るんだ。
成長^{せいちょう}して根^ね元^{もと}の
木^きがな^なくなると
空^{そら}洞^{あな}がで^できて
「根^ねあがり」に
なるこ^ことも
あるよ。

エゾマツは成長^{せいちょう}が遅^{おそ}く、苗^{かえぎ}木^ぎを育^{そだ}てるのに6年^{むねん}も
かか^かるう^うえ、霜^{しも}や病^{びょう}害^{がい}虫^{ちゅう}に弱^{よわ}いこ^こから、造^{ぞう}林^{りん}が
難^{むづ}しく数^{かず}が減^へつてきた。

しかし「北海道^{ほっかいどう}の木^き」
として親^{おや}しまれ、
材^{ざい}として^も
優^{すぐ}れたエゾマツ
を回^{かえ}復^ふさせよう^と
様^{よう}々^々な取^と組^{ぐみ}み^が
進^{すす}めら^られてい^いるよ。

エゾマツは
40mにも育^{そだ}つ
森^{もり}のシンボルだ

未^あ来^{らい}に残^{のこ}
していき
たいね

あ!
クマガラだ。

コンテナ苗^{かえぎ}での成^{せい}長^{ちやう}試^し験^{けん}

春
雌^メ花^{はな}は前^{まえ}年^{ねん}の
枝^{えだ}先^{さき}につく

雌^メ花^{はな}

秋

完全^{ぜんぜん}に熟^{じやく}した
松^{しょう}ぼ^ぼっ^っくりは
枝^{えだ}先^{さき}に
垂^たれ下^{くだ}がる

種^{たね}子^こ

冬

冬^{ふゆ}芽^めは三角^{さんかく}で
松^{しょう}ヤ^やニ^にに覆^{おほ}われ^る

夏

葉^はは先^{さき}がとがる
葉^はの付^つけ根^ねには凸^{こぼ}型^{がた}の
突^と起^き（葉^は枕^{まくら}）が目^め立^たつ

アオダモ

モクセイ科
トネリコ属
樹高 10 ~ 15m

春

真っ白な花が
雪が積もったように咲く

リン子の絵日記

アオダモ

おじいちゃん
何して
いるの？

これはな、
ワシが初めて
もらった給料で
買ったアオダモの
バットじゃ。

多くはセンノキやヤチダモじゃったが、
バット材として最適なのはアオダモじゃ。
じゃった。



特に雪が少なく寒さが厳しい
日高や阿寒のアオダモは
最高級なのじゃ。

アオダモバットは粘りがあって割れにくく、軽量で
振りやすい。そのため長年プロ選手に愛用されてきた。

しかし天然のアオダモは
成長するまで60年もかかる。
次第にアオダモの木はなくなっていった。

そこで近年、アオダモを
植えて育てる活動が始まった。

アオダモ植樹祭

数十年後、北海道が再び
「バット王国」となる
かもしれないの。



補欠でほとんど
打てていない
からよね。

はははは...

まあのお
大事にしてきたから
ピカピカなんだね。

夏 実ができてはじめる



両性花

雄花

秋



種子

熟した種子は風に乗って
散布される
数年に一度豊作になる

冬

冬芽



オヒョウ

ニレ科
ニレ属
樹高 20~25m

春

葉よりも先に
花が咲く

風で花粉が運ばれる
風媒花

夏
種子が熟す

葉は大小形状不定で
葉脚（葉の付け根）
が左右不揃い

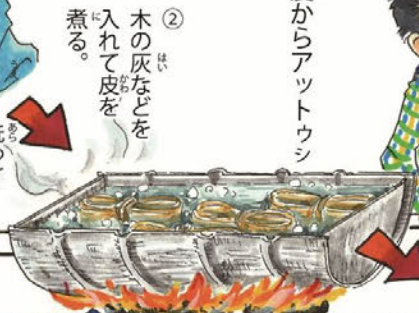
リン子の絵日記

オヒョウ

おもしろい
形の葉っぱ
だね！

オヒョウの葉は形が多様
で一枚として同じものは
ないと言われているよ。

アイヌ民族はオヒョウの樹皮からアットウシ
という布を作ってきた。



秋

黄葉する

冬

冬芽

成長すると灰色の樹皮が薄く剥がれる

アカエツマツ

マツ科
トウヒ属
樹高 30 ~ 40m

春

雌花は前年の
枝につく

雌花

雄花

夏

葉の断面は四角形

リン子の絵日記

アカエツマツ

かりんちゃんピアノ上手！
すっごくいい音だね。
ひいおはあ様から
受け継いだピアノですの。

このグラランドピアノには最上級の北海道産
天然アカエツマツが使われていますの。



ピアノの
心臓は弦の音
を豊かに響かせる
響板！



さらにアカエツマツ
から抽出された
精油は、いやしの
アロマの他、
色々な効果
が期待されて
いますのよ。

豊かな音色に
いやしの香り…



アカエツマツは五感で楽しむ
北海道のソウルウッド。



近年は人工林アカエツマツの
活用に向けて、枝打ちなど
手入れが行われていますわ。

枝打ち
枝を切り落とし
節のない材を
育てる作業。

秋

まつぼっくりは
エツマツより
細い

種子

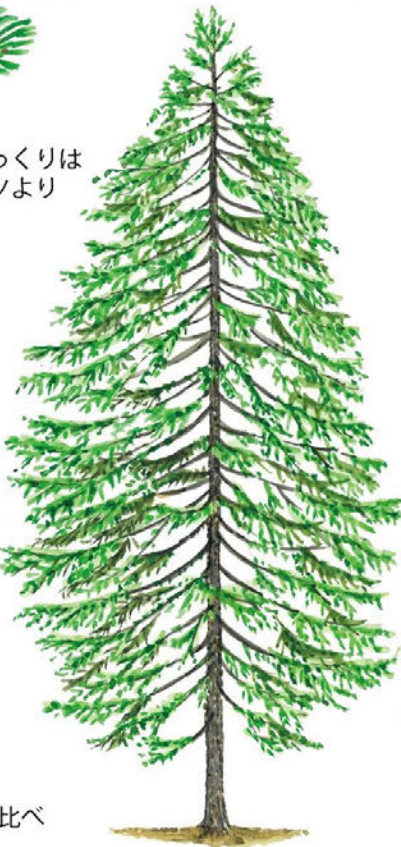


冬

冬芽は松ヤニに覆われる



樹皮はエツマツと比べ
ガサガサと粗い



エゾヤマザクラ

バラ科
サクラ属
樹高 15 ~ 20m

リン子の絵日記

エゾヤマザクラ

エゾヤマザクラは
やっぱり花の色が
濃くて鮮やかね。

ソメイヨシノも
きれいだわ。

少し遅れて咲く
カスミザクラも
可憐だね。

ライラックと同じ
時期に咲く
チシマザクラは
低木で香りがあるよ。

サクラ開花宣言 標本木

- ① ソメイヨシノ
- ② エゾヤマザクラ
- ③ チシマザクラ

ちなみに、春に出されるサクラ開花宣言の
標本木は、地域によってサクラの種類が違うんだ。

カスミザクラ

ソメイヨシノ

エゾヤマザクラ



あら？
花がまるごと落ちて
いるわ。

スズメの仕業だね。
くちばしの短い
スズメは、サクラの
花をちぎり取って
蜜を吸うんだ。

花より団子ね。

こっちは花より
お肉だね。

いっただきま〜す!!

北海道名物
サクラの下でジンギスカン!

春

花と葉がほぼ同時に開く

秋

紅葉は赤・黄・橙色と多様

葉ははじめ赤みがる

夏

冬

冬芽は粘りがある

冬芽には花芽と葉芽がある

樹皮は横に皮目が入る

実は熟すと緑→赤→黒紫色と変化する

ナナカマド

バラ科
ナナカマド属
樹高 10 ~ 15m

春
小さく白い花が
穂咲きする

リン子の絵日記

6月

わあっ
きれいな白い
花だね!

ナナカマドですわ。
花言葉は
「安全・用心・慎重」
あんげん じんじゆう

交通事故防止の
願いを込めて
街路樹として
植えられていますのよ。

だからナナカマドは道内で、
市町村の木
としての指定が最も多いんだ。

ナナカマド

ハナバチ

12月

真っ赤な実が
真っ白な雪を
かぶっているよ。

ナナカマドの実には
保存料や毒成分が入っているから、
腐らず食べられないんだって。

2月

実が凍ると
毒がなくなる
んだって。

う〜さささささ
あ、レンジャク

ヒレンジャク

だから寒くなると
野鳥が食べに
来るんだ。
鳥たちはよく
知ってるね!

秋 美しい紅葉
実も紅く色づく

落葉後も
赤い実が
残る

冬

冬芽は
べとべと
している

幹は淡褐色で
楕円形の皮目あり
成木になると暗灰色
で浅くさける

夏 黄緑の実が
鈴なりに実る

カラマツ

マツ科
カラマツ属
樹高 20 ~ 40m

リン子の絵日記

カラマツ

森全体が
まっ黄色!

カラマツの黄葉は
みごとだね

カラマツは明治13(1880)年に長野県から
北海道へ移入されたのが最初とされている。

苗木の活着が良く、成長も早かったため
全道各地で植林されカラマツ林が広がったんだ。

道内人工林の
約3割が
カラマツ林だよ

キノコ(菌)と
共生した菌根だ。
お互い助け合って
生きてるんだ。

本当は
根の部分が
膨らんで
いる!

ハナイグチはカラマツ
から養分をもらう
代わりに、無数に
広げた菌糸で
集めたリンや
窒素、水分を
カラマツに
与えているよ。

あつらくヨウキノコ発見!
本名ハナイグチだね。
カラマツ林にしか
出ないキノコだよ。

春

かわいい花と新葉が
展開する

光合成産物

水やリン・窒素等

秋

葉は黄金色に
黄葉し
まつぼっくりが熟す

種子

雄花は下を向く

パイナップル
のような雌花は
上を向く

冬

針葉樹だが落葉する

夏

丸みのある
まつぼっくりを
つける

冬芽は
らせん状につく

枝の先端の
頂芽

灰褐色で細長い
縦の鱗状の樹皮

ミズナラ

ブナ科
コナラ属
樹高 30m

春

冬芽は遅霜に備えて一度に開かない

リン子・絵日記

ミズナラ
どんぐり
どんぐり
こころころ



北海道のどんぐりと
いえばミズナラ。
栄養満点のどんぐりは
たくさん動物たちの
秋のごちそうだ。

古いミズナラの幹には
マイタケなどのきのこも
出るよ。

「ミズナラは名前の通り水を多く含む木だ。重く、堅く、どっしりとして木目も美しいから、高級家具材や内装材に活用されているよ。」

おもしろい
木目があるね!

虎の模様のようなから「虎斑」と呼ばれているんだ。



また、若いときの成長も早いから、木炭や、シイタケ栽培の原木にも利用できる。

切り株から
たくさん芽が
でてくる!

萌芽だね。
育てて切つてを
繰り返せるんだ。



枝を大きく張り、
500年以上の寿命
を持つミズナラは、
ヨーロッパ
で「森の王」と
呼ばれているよ。

動物にも、きのこ
にも、人にも役に
立ってくれる。
森の優しい王様だね



約20年後

秋 ドングリは落葉の下で根を出し冬を越す



樹皮は灰褐色で縦に不規則な割れ目



雄花



雌花

夏

実(ドングリ)が少しずつ大きくなる



冬 冬芽は真上から見ると五角形に見える



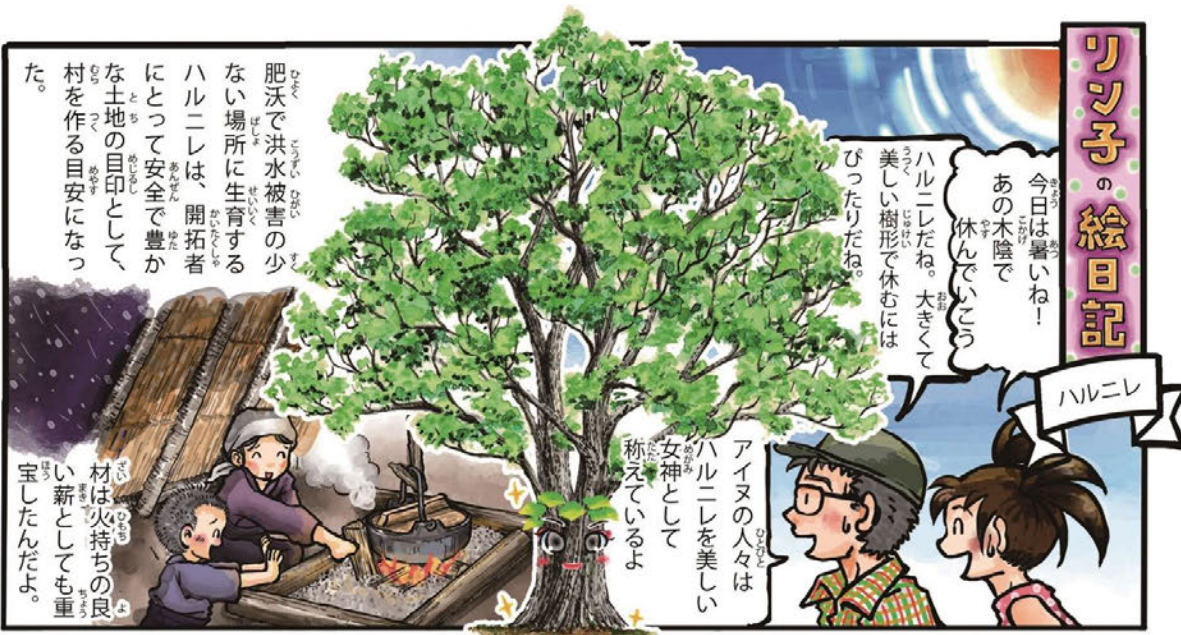
ハルニレ

ニレ科
ニレ属
樹高 30m

春

葉よりも先に
花が咲く

リン子の絵日記



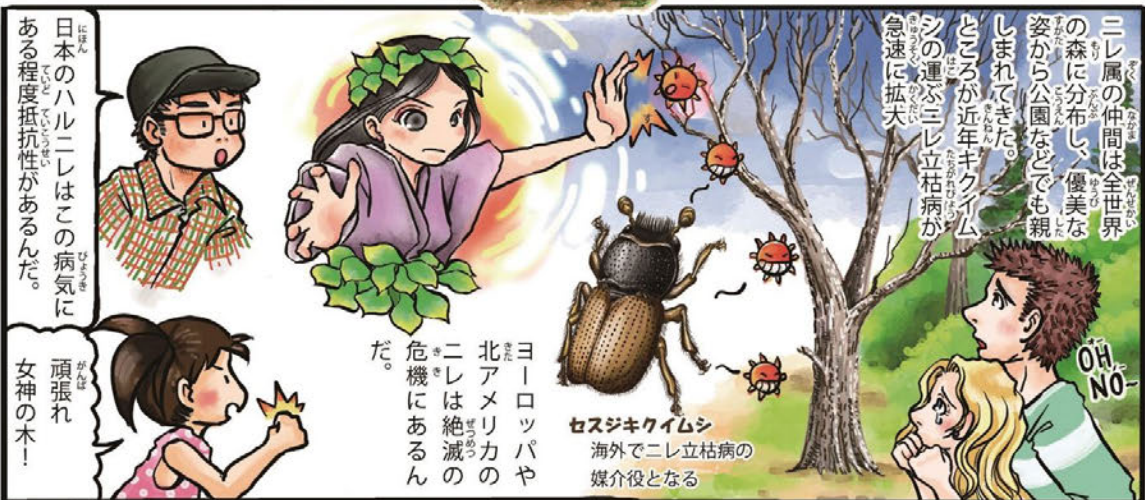
今日は暑いね！
あの木陰で
休んでいこう
ハルニレだね。大きくて
美しい樹形で休むには
ぴったりだね。

アイヌの人々は
ハルニレを美しい
女神として
称えているよ

肥沃で洪水被害の少
ない場所に生育する
ハルニレは、開拓者
にとって安全で豊か
な土地の目印として
村を作る目安になっ
た。

材は火持ちの良
い薪としても重
宝したんだよ。

ハルニレ



ニレ属の仲間には全世界
の森に分布し、優美な
姿から公園などでも親
しまれてきた。
ところが近年キクイム
シの運ぶニレ立枯病が
急速に拡大

セスジキクイムシ
海外でニレ立枯病の
媒介役となる

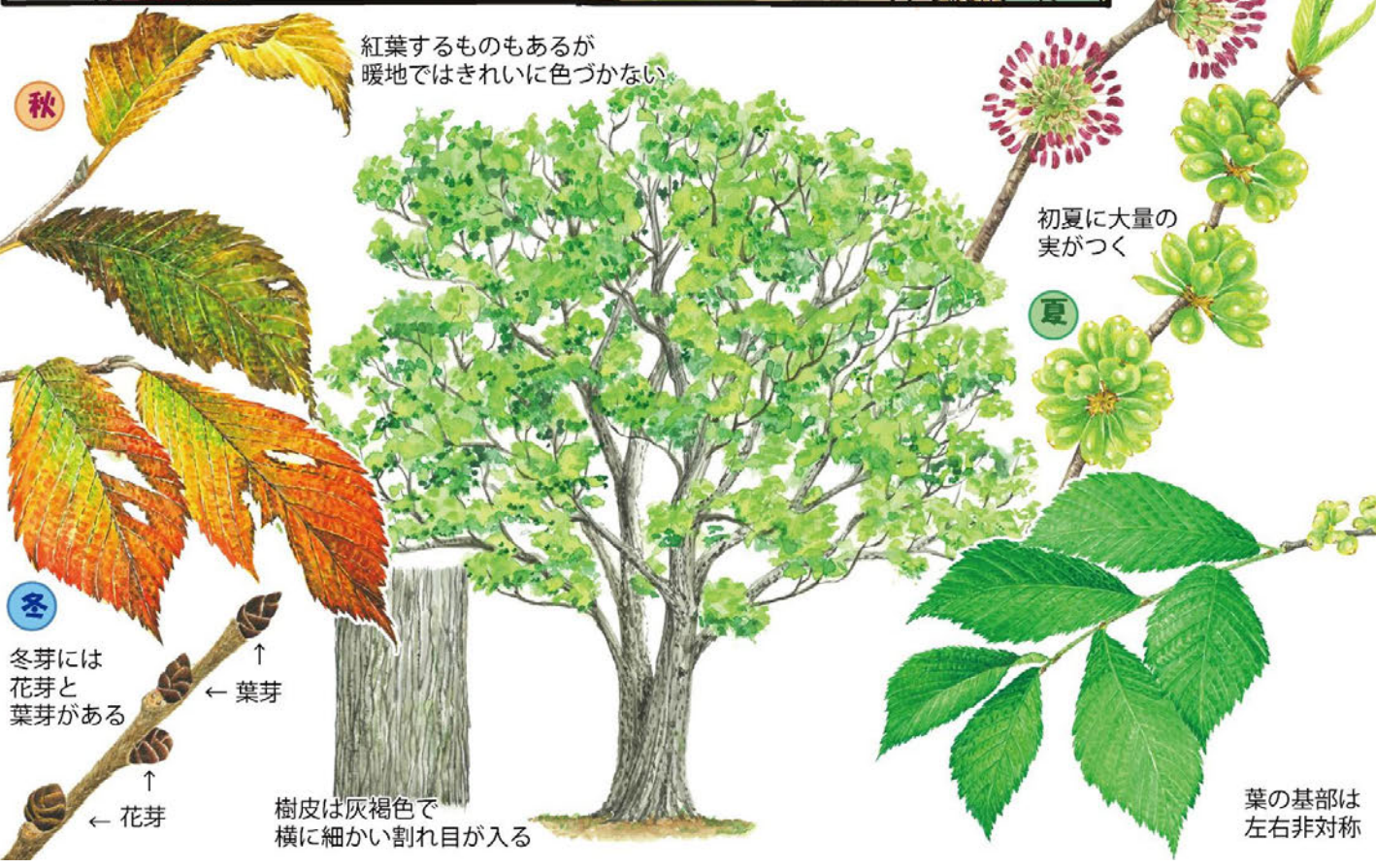
ヨーロッパや
北アメリカの
ニレは絶滅の
危機にあるん
だ。

日本のハルニレはこの病気に
ある程度抵抗性があるんだ。

頑張れ
女神の木！

初夏に大量の
実がつく

夏



紅葉するものもあるが
暖地ではきれいに色づかない

秋

冬

冬芽には
花芽と
葉芽がある

花芽

樹皮は灰褐色で
横に細かい割れ目が入る

葉の基部は
左右非対称

シナノキ

アオイ科
シナノキ属
樹高 20 ~ 25m

リン子の絵日記

シナノキ

わあっかわい
い
木彫りの熊！

シナノキから
彫られた、
鮭背負い
熊じゃ。

一昔前、
北海道土産といえ
ばこの木彫り熊じゃった。

1922年尾張徳川十九代当主・徳川義親は旅先のスイス
で見つけたお土産品の木彫りの熊を、翌1923年かつて
尾張藩士達が開拓した道南の八雲に持ち込んだ。

農閑期の貴重な収入源に、また美術に触れて暮らしを豊か
にして欲しいという義親の願いと共に、木彫りの熊づくり
は全国各地に広がっていったんじゃ。

ほとんどの工芸家は「刃物を痛めない」とし
て、軽く柔らかいシナノキで熊を彫った。

同時に色が白く、木目が穏やかで大きく成長
するシナノキは、シナ合板としても活用され、
北海道の経済を支えたんじゃ。

さらに花からは
蜂蜜もとれる！

私も蜂蜜
大好き!!

春

ハート型の
葉が開く

実にはプロペラ状の
総苞葉にぶら下がっており
風に乗って
遠くまで飛ぶ

秋

冬

冬芽
芽鱗は
大小2枚

樹皮は暗灰褐色で
縦に浅く割れ目が入る

夏

初夏に開花する花は
レモンのような甘い香り

ハンノキ

カバノキ科
ハンノキ属
樹高 15 ~ 20m

リンネの絵日記

ハンノキは雄花に雌花、実と冬でも色々とぶら下げているから見分けやすいね。

ハンノキ

あの木、何かぶら下がってる

カワラヒワ

あれは果穂。中に入っている種子は鳥達にとつて、餌の少ない冬の貴重な栄養なんだ。

小さなまつぼっくりみたい

小さな種子を風で飛ばして開けた場所ですぐ成長するパイオニア種なんだよ。

皮目から根に空気を送ったり...

あれ？ハンノキの根元が水につかちやってるけど大丈夫なのかな？

盛んに萌芽したり！
菌（根粒菌）と共生して空気中の窒素を取り込んだりして、他の木が生きられない湿地でも成長できるんだ。

ハンノキは水分が多いところでは多くの不定根を出したり！

パイオニア開拓者かっこいい！

雌花序

雄花序

春

花は早春の暖かい日にあつという間に開花する

夏

花に次いで左右非対称の葉が開く実が膨らみ始める

秋

種子

まつぼっくりのような実（果穂）が熟す

冬

葉の入った冬芽は少しべたつく

↑ 雌花序の冬芽

雄花序の冬芽 →

樹皮は不規則に浅く裂けてはがれる

カツラ

カツラ科
カツラ属
樹高 30m

カツラの絵日記

カツラ

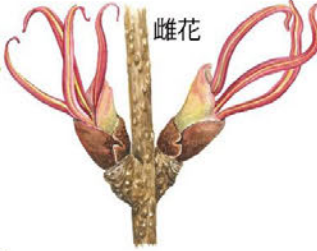
なんだが甘い香りがするね

立派なカツラだね
北海道で最も
大きな木の
ひとつだよ。

秋に枯れた葉からは
甘い香りがするから
「香出ら」カツラの
名前がついたとされて
いるんだ。

落ち葉
切ったペットボトル
に入れる

春には紅色の花と新葉が開く。



イチイ

イチイ科
イチイ属
樹高 10 ~ 15m

リン子の絵日記



春 花が咲く雌雄異株



雄花の多くは前年の枝に咲く



秋 赤い実が熟す中に種子が1つ入る



冬



冬芽



夏 葉はとがるが触っても痛くない



樹皮は薄く浅い裂け目が目立つ



発行 林野庁 林野図書資料館

林野図書資料館は国立国会図書館の支部にあたり、林野行政・施策部門における専門図書館として、森林・林業・木材産業関係の資料を広く収集、保存しております。

当漫画は日本人と木の文化をより多くの方々にご紹介し、日本の森林・林業の応援団になっていただきたいという思いを込めて作成いたしました。

他の漫画シリーズも林野庁のHPからご覧いただけます →



林野庁 林野図書資料館

〒100-8952

東京都千代田区霞が関1の2の1

電話:03-3502-8111(代表)

